

調査事例：特殊健診〔GPT：定期健診受診勧奨出現率〕

環境・健康

塩素系有機溶剤などの取り扱い作業では、有機溶剤健康診断で肝機能検査〔GOT、GPT、 γ -GTP〕が義務付けられています。肝機能検査〔GPT〕の定期健康診断での受診勧奨¹⁾の出現率を某健診機関での定期健康診断の受診者について肥満度、飲酒習慣別に調査した結果を下記表に示しました。

肝機能障害は、肥満・多量飲酒などでも生じる一般的なものであり（下記表）、受診者の肝機能障害が有機溶剤の影響によるものかどうかを判断するには、生物学的モニタリングなどによりばく露量を把握する必要があります。

1) 厚生労働省：標準的な健診・保健指導プログラム（確定版）受診勧奨判定値：51 IU/L 以上

定期健康診断での肥満度・飲酒習慣別 GPT 受診勧奨の出現率（％）

男性〔20～39歳〕

		肥満度（BMI）	
		普通（18.5～24.9）	肥満（25.0以上）
飲酒習慣	飲まない	4.0	31.0
	機会があれば飲む	3.6	27.9
	毎日飲む：2合未満	3.2	22.0
	毎日飲む：2合以上	7.4	25.2

男性〔40～59歳〕

		肥満度（BMI）	
		普通（18.5～24.9）	肥満（25.0以上）
飲酒習慣	飲まない	4.3	20.7
	機会があれば飲む	4.0	19.6
	毎日飲む：2合未満	3.3	13.3
	毎日飲む：2合以上	6.5	15.2

kes サポート

課題	kes サポート
体内ばく露量の把握	生物学的ばく露モニタリング （生体試料中有害物質・代謝物等の測定）
体外ばく露量の把握	個人ばく露モニタリング （時間加重平均濃度の測定、経時的濃度の測定）
体外ばく露の情報	作業環境測定 （作業環境の管理区分）